

別記様式(第5条関係)

## 会 議 録

|                    |   |   |
|--------------------|---|---|
| 会議の名称              | 福津市健康づくり推進協議会   |   |
| 開催日時               | 令和8年 2月 26日(木)  | 午後 2時00分から<br>午後 2時30分まで  |
| 開催場所               | ふくとぴあ 2階 わくわくルーム  |   |
| 委員名                | (1)出席委員<br>古野 貴、中島 究、坂口 尚登、渡辺 まゆみ、<br>城野 加代子、松原 秀治、板井 真人、大島 英彦  |   |
| 所管課職員職氏名           | 健康福祉部長 大庭 武志<br>高齢者サービス課長 桑野 晃明<br>子育て世代包括支援課長 佐々木 こずえ<br>いきいき健康課長 寺島 徹<br>子育て世代包括支援課保健指導係長 安部 真理<br>子育て世代包括支援課子育て世代包括支援係長<br>大橋 由紀<br>いきいき健康課健康づくり係長 権現 陽子<br>いきいき健康課健康づくり係長 岩佐 知実<br>いきいき健康課健康づくり係 鈴木 華奈<br>いきいき健康課健康づくり係 北城戸 奈津美 |   |
| 会<br><br><br><br>議 | 議 題<br>(内 容)  | (1)令和8年度福津市保健事業計画(案)について<br>(2)その他<br>(報告)福津市インフルエンザ等対策行動計画(素案)について                               |
|                    | 公開・非公開の別  | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 |
|                    | 非公開の理由  |   |
|                    | 傍聴者の数   | なし  |
|                    | 資料の名称   | 令和8年度福津市保健事業計画(案)<br>福津市新型インフルエンザ等対策行動計画(素案)  |
| 会議録の作成方針           | <input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録   |   |
|                    | <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録  |   |
|                    | <input type="checkbox"/> 要点記録   |   |
|                    | 記録内容の確認方法:会長確認  |   |
| その他の必要事項           |   |   |

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1. 開会のことば

2. 健康福祉部長挨拶

3. 会長挨拶

4. 議事

(1) 令和8年度福津市保健事業計画(案)について

(2) その他

古野会長            それでは議事に入ります。(1)「令和8年度福津市保健事業計画(案)について」事務局から説明をお願いいたします。

事務局 岩佐        福津市保健事業計画は、福津市における保健分野や健康づくり分野を担う計画である「健康ふくつ21計画」に沿って作成しています。「健康ふくつ21計画」は、「まちづくり計画」を最上位の計画とし、市民の健康の増進を図るための基本的事項を示し、推進に必要な方策を明らかにするものです。福津市では、市民が心身ともに健康で生涯を通じて健やかな生活を送ることができるよう「健康寿命の延伸」の実現を目指しています。この「健康ふくつ21計画」の施策の体系をもとに、福津市保健事業計画(案)を作成しています。令和8年度福津市保健事業計画(案)について、説明いたします。施策の柱「がん」のがん検診等事業です。市民の方ががん検診を受けやすいよう、集団健診として5つのがん検診を同時に実施し、複数の会場で健診を実施しています。受診者の高齢化に伴い、バス検診ではなく施設での検診が望ましい受診者が増えています。宗像医師会健診センターに行くことが難しいという声があったため、市内で集団健診を実施できる施設を持つ、水光会健診センターでの健診を令和8年度より開始することになりました。また、勝浦地区は集団健診を行っていませんでしたが、健診の受診機会の拡大のため、勝浦郷づくり交流センターでも、令和8年度から集団健診を行います。次に施策の柱「循環器疾患、糖尿病」の特定健診についてです。集団健診では、特定健診とがん検診を同時に実施しています。受診者の利便性を考え、特定健診も水光会総合健診センターと勝浦郷づくり交流センターでも、がん検診と同時に行えるよう会場を増やします。次に特定保健指導、結果説明、糖尿病性腎症重症化予防事業についてです。健診を受診した方に、保健指導や結果の説明を行っています。保健指導は、勝浦郷づくり交流センターでも実施いたします。施策の柱「栄養・食生活」です。料理教室の参加者は増加を続けており、特に小学4～6年生を対象としたこども食育教室では、参加希望者が定員を上回り、抽選を行ったため、令和8年度のこども食育教室は、2回実施する予定です。施策の柱「高齢者の健康」は、高齢者サービス課で実施する事業となります。短期集中予防サービスについては、対象は主に要支援1と2の方々の、介護保険サービスの利用前に運動器機能の状態・生活環境などを確認しながら、生活機能改善を目的に事業展開しています。事業を通して生活機能が改善され、地域

の通いの場につなげていければと考えております。その受け皿となっていた  
だきたい、地域の通いの場の活動を支援・サポートする事業として、介護予  
防講座事業や地域リハビリテーション活動支援事業、地区巡回型の介護予  
防健診事業を継続して実施していく計画としています。その他の事業、個  
別接種(乳幼児・児童・生徒)についてです。令和8年4月1日から、子宮頸  
がんワクチンについては、2価・4価ワクチンは対象外となり、9 価ワクチンの  
みが定期接種の対象となります。同じく令和8年4月1日から、RS ウイルス  
母子免疫ワクチンの定期接種化が始まり、対象は妊娠28週0日～36週6  
日の妊婦となっております。次に高齢者の予防接種です。令和8年4月1日  
から、高齢者肺炎球菌予防接種の対象のワクチンが変更になります。また、  
高齢者インフルエンザですが、令和8年10月から、75歳以上の人について  
は、高用量インフルエンザワクチンが追加となり、標準量または高用量のイ  
ンフルエンザワクチンのどちらかを選んで接種することが可能となる予定の  
ため、準備を進めています。最後に肝炎検査ですが、水光会総合健診セン  
ターでも受けることができるようになります。

古野会長            今の報告について、質問や意見などはありますか。

大島委員            前回の協議会でも若干触れましたが、健康づくりに関心がない、無関心層  
が世代を問わず一定数いるかと思えます。それが、住民間の健康格差の要  
因の1つになっているのではないかと思います。それを解消する一つとし  
て、地域住民が自ら参加する地域と連携した健康づくりというの、大きな  
手ではないかと思えます。今回の事業計画にも、そういった内容は十分含  
まれていると思えますが、どちらかという高齢者中心の事業が多いように  
思えます。それも大事ですが、より地域全体を包括的に取り込んだ世代横  
断型の連携事業が必要だと考えています。そこでお尋ねです。地域と連携  
した健康づくりについて、どういった考えをお持ちですか。それともう一つ、  
これからの地域連携について何か課題があれば教えてください。

事務局 寺島        高齢者中心の事業が目立ちますが、郷づくり単位で、地域住民を集めた  
健康測定会を実施しています。地域の方々が自主的にこういうイベントを  
行うことが、今後大事になっていくと考えています。そこに、市の保健師や  
地域包括支援センターの職員も参加し、困り事の確認等もしています。宮  
司地区の郷づくりでは、福岡女学院看護大学の学生や先生方にも地域の  
測定会に参加してもらい、交流を含めた取り組みも実施しています。

大島委員            地域連携のうえでのネックや課題はありますか。私自身、自治会の役員を  
して、地域連携が進めば地域全体が活性化し、地域全体の生活力が  
高まり、健康づくりに繋がっていく良い循環が出来ると思っています。地域  
連携の推進を期待しているものですから、逆にネックや課題はありますか。

事務局 桑野        高齢者サービス課から回答します。高齢者中心という話ではありますが、  
資料の3ページにあります、地域リハビリテーション活動支援事業の中で、  
介護支援をさせていただく中でも課題になっているのが、担い手不足や継  
続性です。それによって、地域での取り組みがストップしてしまう状況が毎

年あるので、世代交流等が出来たらと思っています。包括支援センターや社会福祉協議会と一緒に、担い手になっていただけるような方を探す取り組みも行っています。

古野会長 持続可能なものをつくらなければならないということですね。新しい取り組みとして、先ほど説明がありましたが、中でも肺炎球菌ワクチンが来年度から接種する内容や金額が変更になると思います。新しいワクチンは少し高くなると思いますが、その点も市民の方に理解してもらわないといけないのかなと思っています。他にご質問はありますか。

古野会長 それでは委員の方から出た意見や質問について、次年度以降の事業に反映させられるものは事務局の方で反映させてもらうということで、議事については承認いただいてよろしいでしょうか。

(一同承認)

## 5.報告

### (1)福津市新型インフルエンザ等対策行動計画(素案)について

古野会長 議事については、以上となります。続きまして、次第5 報告に移ります。ここで、事務局から報告事項があります。「福津市新型インフルエンザ等対策行動計画(素案)」について、事務局から説明をお願いします。

事務局 寺島 「福津市新型インフルエンザ等対策行動計画(素案)」について説明いたします。福津市では、平成26年に国の計画に基づき、計画を策定していましたが、国が抜本的な改正を行ったため、市の計画も改定することとなりました。この計画の目的は、感染症等が発生した場合に、住民の健康や生活及び経済に及ぼす影響が最小となるよう、平時の備えや感染症発生時の対策を行うものです。

計画策定の今後のスケジュールに関しては、3月の全員協議会で議員の皆様へ、この計画の策定及びパブリックコメントを行う説明を行い、パブリックコメントを行います。本計画の改定を令和8年7月までに完了させる流れになります。

古野会長 委員のみなさまから、今の報告について、質問などはありますか。

大島委員 18ページ第1章の実施体制の第1節、準備期の実践的な訓練を実施するという規定がありますが、これまでに現行規定で、総合的な訓練を行った実績はありますか。

今回改定されると、概ね6年に1度の見直しが求められると思います。ブラッシュアップしていくためには、過去の反省や課題を盛り込んでいくのが良いと思いますが、それには訓練が必要だと感じます。経験上、訓練すると必ず課題が出てくるので、それを反映させていただくと良いと思います。訓練は是非実施していただきたいと思っています。

|                 |   |
|-----------------|---|
| 古野会長            | <p>新型インフルエンザの訓練は、大きな病院単位で行われていたと思います。コロナ禍以降、体制が少し変わってきたので、例えば飛行機事故の発生等の大きな災害対策に関しては、福岡東医療センターさんで、年1回は消防等の協力を得て行っていると思います。東医療センターの会議で説明を聞きましたが、古賀市や宗像市は災害の訓練に参加していたのではないかと思います。福津市でしたら水光会病院さん辺りが中心で、感染症等のカンファレンスは、医師会では色々な施設の核となって、年4回程開催されています。一般市民の方や行政も含めての対応が必要になるでしょうね。</p> |
| 事務局 寺島          | <p>本年度の東医療センターでの訓練は、福津市も参加しました。</p>   |
| 古野会長            | <p>去年は参加されていなかったですね。<br/>         新型インフルエンザでは、今後パンデミックのような事が起こる可能性があります。それに対応して、大島委員からも話がありましたように、訓練することで色々な課題が見つかるので取り組んでいただきたいと思います。他に質問はありませんか。</p>  |
| 渡辺委員            | <p>関係機関との連携の中で、教育施設との連携等はここに載せなくていいのですか。学校等は、蔓延防止の対応が必要になるかと思うのですが、いかがでしょうか。</p>  |
| 事務局 寺島          | <p>この計画の改定後に、ガイドラインの改定を行います。ガイドラインで、具体的な組織の協力体制を考えることとなります。</p>   |
| 古野会長            | <p>今年の7月に、この行動計画は最終的に完成しますか。</p>  |
| 事務局 寺島          | <p>はい。</p>  |
| 古野会長            | <p>他にご意見ございますか。これで、全てが終了いたしました。</p>   |
| <p>6.閉会のことば</p> |   |